

報道発表資料
平成28年8月24日
銚子地方気象台

平成28年8月22日に千葉県南房総市で発生した突風について
(気象庁機動調査班による現地調査の報告)

8月22日07時10分頃、千葉県南房総市千倉町平磯（ちくらちょうひらいそ）で突風が発生し、非住家の屋根のトタンの飛散や住家の屋根瓦のめくれなどの被害がありました。また、同日07時30分頃、南房総市安馬谷（あんばや）から沓見（くつみ）でも突風が発生し、住家の壁のトタンのめくれや道路交通標識の傾倒などの被害がありました。

このため8月23日、銚子地方気象台は、突風をもたらした現象を明らかにするため職員を気象庁機動調査班（JMA-MOT）として派遣し、現地調査を実施しました。

調査結果は以下のとおりです。

○南房総市千倉町平磯で発生した突風

（１）突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、竜巻と推定した。

（根拠）

- ・突風発生時に活発な積乱雲が付近を通過中であった。
- ・確度が高い、移動する渦の目撃証言が複数得られた。
- ・被害や痕跡は帯状に分布していた。
- ・突風はごく短時間（1分程度）であったという証言が複数得られた。
- ・ゴーという音が移動したという証言が複数得られた。

（２）突風の強さの評定

この突風の強さは、風速約40m/sと推定され、日本版改良藤田スケールでJEF1に該当する。

（根拠）

- ・非住家の屋根のトタンの飛散

○南房総市安馬谷から沓見で発生した突風

(1) 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、特定に至らなかった。

(根拠)

- ・突風発生時に活発な積乱雲が付近を通過中であった。

(特定に至らなかった理由)

- ・被害、痕跡及び聞き取り調査から、被害をもたらした現象を推定できる情報が得られなかった。

(2) 突風の強さの評定

この突風の強さは、風速約45m/sと推定され、日本版改良藤田スケールでJEF1に該当する。

(根拠)

- ・住家の壁のトタンのめくれ
- ・道路交通標識の傾倒

＊ この資料は速報として取り急ぎまとめたものですので、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。

本件の問い合わせ先
銚子地方気象台
電話 0479-23-7705